

令和 7 年 度

事 業 報 告

令和 7 年 1 月 1 日から

令和 7 年 1 2 月 3 1 日まで

公益財団法人長野県学校給食会

目 次

	ページ
I 概 況	1
II 主な事業について	1
1 学校給食用パン用小麦粉の規格、県産小麦粉 100%パンの提供について・	1
2 委託加工工場の衛生管理について	2
3 基本物資について	2
4 一般物資について	2
5 「学校給食における長野県産物活用促進事業」の実施	4
6 おいしい給食研究会補助事業	4
7 長野県産物活用促進事業への参加	4
8 食育支援事業	5
9 令和5年学校給食用パン審査・品質向上研修会	5
10 令和5年の刊行物	5
11 その他の事業	6
III 財務状況	6
IV 今後について	6
V 会 議	7
1 理事会	7
2 評議員会	7
3 監事による監査会	7
4 学校給食用小麦粉製品・米飯加工賃協議会	7
VI その他	8
VII 附属明細書	9

令和7年度事業報告

I 概況

日本経済は物価上昇が続く一方、賃金の伸びが追いつかず実質購買力の回復が課題となっております。企業収益は円安で改善しているものの、個人消費は慎重で景気の先行きは不透明であります。政府は成長投資や賃上げを進めておりますが、人口減少や人手不足といった構造問題は依然深刻であります。国際的には米国の金融政策が世界経済に影響し、新興国の資金流出や為替変動が懸念され、中国の不動産不況や内需低迷も成長の重しとなり、地政学リスクやサプライチェーン再編が不確実性を高めています。

令和7年度の学校給食会では、物価高騰が続く中でも安定した主食の提供を維持するため、価格調整積立金を活用し、主食用米穀を年間を通じて低廉な価格で供給する取り組みを実施しました。食材価格の上昇は全国的な課題となっており、特に主食である米の価格変動は学校給食費に直接影響を与えるものです。こうした状況下で、給食会が積立金を計画的に活用し、価格を抑えた米穀を安定的に提供できたことは、学校現場にとって大きな支援となりました。

この取り組みは、単に価格を下げることを目的とするにとどまらず、学校給食の継続性と質の確保を両立させるための重要な施策であります。積立金を活用することで、急激な市場変動に左右されず、年間を通じて一定の価格で米を供給できたことは、各学校や自治体の財政の安定化にも寄与したと思われます。また、家庭の負担軽減にもつながり、物価高騰が続く社会情勢の中で、公益法人としての学校給食会が求められるその役割を果たす結果となりました。

このような状況の中、本年度の物資供給事業は、精米価格、加工賃の改定もあり、供給額としては全体で前年を3.26%上回る結果となり、主食については、前年を7.59%上回る状況となりました。一般物資については、前年とほぼ同額となっております。

今後も児童・生徒数の減少による影響を最小限にとどめ、事業の継続・発展のため、本会の基本理念である「安心できる食材を安価で安定供給する」ことを一層推し進め、保護者、児童・生徒、学校関係者の方々から更に深い信頼を寄せていただくよう努力していく必要があります。

II 主な事業について

1 学校給食用パン用小麦粉の規格、県産小麦粉100%パンの提供について

より安心安全な食材の提供及び地産地消の推進のため、令和3年1月需要分より県産麦50%北海道産麦50%とし国産100%での供給を開始いたしました。令和6年1月からは県内麦の生産品種変更に合わせて、一部使用していた中力粉の使用をやめ強力粉のみとし、よりおいしいパンの提供を始めました。また、昨年を引き続き、長野県地域食品産業連携プロジェクト（LFP事業）に参画し県産小麦粉100%のパンの提供に協力をしまし

た。

長野県の学校給食用パンは、物価高騰や原材料価格の上昇による影響を強く受けつつも安定供給と品質確保が求められる重要な食材です。長野県製粉協会との連携により、県産小麦の活用や地産地消の推進を図ってまいります。

2 委託加工工場の衛生管理について

主食物資の異物混入防止対策をはじめノロウイルス等の食中毒の防止の為、年2回の在庫調査に合わせ委託加工工場に対する衛生指導を実施しました。さらに、課題のある委託加工工場に対しては専門家を交え個別の衛生指導を実施しました。

3 基本物資について

パンの品質向上を主眼に長野県パン・米飯製造事業者協議会の協力のもと第1回のパン審査会に合わせ品質向上研修会を実施しております。長野県麺業協同組合に対しても食品衛生に関する研修会に対し助成をするなど、より安心安全な基本物資の提供に努めてまいりました。

また、提供米の品質や安全については、300項目に亘る残留農薬検査、カドミウム分析試験、DNA検査を実施いたしました。さらに、毎月、日本穀物検定協会による鮮度検査も実施しました。

米飯供給の児童・生徒等の給食提供数は71,618人で前年比310人、0.44%の増となり、小麦粉製品につきましては、供給児童・生徒等の給食提供数は160,439人で前年比2,014人、1.24%の減となりました。

精米価格は値上げ、小麦粉価格はパン用粉、ソフトめん用粉ともに据え置きとなりました。精米供給価格の値上げ、加工賃の改定もあり、主食の取扱高は、12億760万円となり、前年比8,520万円、7.59%の増となりました。

基本物資の供給数量一覧

種類	小麦粉 (25kg 袋)		脱脂粉乳 (kg)	精 米 (kg)	白麦米 (kg)	米粉 ミックス粉 (25kg 袋)	マーガリン (kg)
	パン用	めん用					
加工等 実使用量	17,436 袋	6,837 袋	16,340 kg	758,993 kg	17,058 kg	699 袋	1,049 kg
実使用量 前年比	△168 袋	△217 袋	△249 kg	9,149 kg	△142 kg	△58 袋	△89 kg

4 一般物資について

昨年度に続き仕入れ価格の上昇により、幅広い品目で価格改定を行いましたが、主食をはじめ、野菜、牛乳等の値上げもあり、例年以上に高価格帯の商品が敬遠される傾向となったこと、児童生徒数の減少もあり供給額については15億977万円と、前年比67万円の微増にとどまりました。

尚、コロナ禍の中、中止していた取り引き先企業を対象とした研修会を開催しております。

○ 一般物資の取り扱いの概要

ア 取引業者 206社 全国の漁協、JA、食品製造業者、卸売・小売業者、農産物生産者等

イ 供給先 263校（場）

内訳 ・単独校 190校 ・共同調理場 73場

ウ 取扱物資

商品分類	種 類	主 な 商 品	売上割合 (%)
1 乳製品	37	バター、チーズ類	1.76
2 ジャム類	76	ジャム、チョコレート、ピーナッツクリーム、はちみつ	1.14
3 植物油	18	米・大豆・菜種・ゴマ・コーン・オリーブ油、サラダ油、ラー油	4.47
4 油脂	6	マーガリン類	0.08
5 缶詰類	110	果物、野菜、山菜、魚介類	9.33
6 乾物類	407	パスタ類、春雨・麺類、小麦粉、豆類・乾燥野菜、凍豆腐 煮干・いりこ類	13.53
7 調味料	458	砂糖、ケチャップ、ソース、しょう油、味噌、食酢、カレールー スープ、みりん風調味料、マヨネーズ、ドレッシング 料理酒、各種香辛料	7.92
8 米飯用	230	各種ご飯の素、漬物類、ふりかけ類、佃煮、納豆、白麦米、 もち米、強化米、五平もち	6.83
9 デザート	373	ヨーグルト、アイスクリーム、プリン、ゼリー、ジュース、果物類、 野菜類	5.90
10 ハム	176	ハム、ベーコン、焼豚、ソーセージ、フランク類	11.14
11 肉類	159	牛・豚・鶏肉、ハンバーグ、かつ類、ミートボール	2.67
12 魚介類	590	魚類の切り身、焼魚、煮魚、フライ、エビ・イカ・貝類、 シーフードミックス等	6.61
13 卵製品	52	うずら卵、鶏卵、卵焼き、オムレツ類、液卵、茶碗蒸等	1.80
14 凍菜類	148	ポテト・南瓜・グリーンピース・インゲン・絹さや・コーン、 ブロッコリー・ほうれん草・小松菜などの凍菜	7.05
15 冷凍食品	290	おやき、五平もち、シュウマイ、餃子、春巻、コロッケ、 冷凍うどん、各種揚げ物	11.42
16 練製品	72	竹輪、カマボコ、さつま揚げ、はんぺん、魚肉すり身等	5.86
17 洗剤	2	石鹸、各種洗剤、消毒用アルコール、洗浄酢	0.05
18 白衣類	35	防水エプロン、白衣、長靴、手袋、マスク 等	0.02
19 調理用具	85	ラップ、アルミホイル、アルミカップ、検食用ポリ袋等	0.74
20 開発食品	39	地場産物を使用し、県学校栄養士会と共同開発した食品	1.68
計	3,363		100.00

5 「学校給食における長野県産物活用促進事業」の実施

(公財)長野県学校給食会が主催し、長野県学校保健会栄養教諭・学校栄養職員部会の長野県農産物活用委員会の協力により実施しました。

(1) 学校給食に長野県産物を活用した献立コンクール

第1次審査会 令和7年10月8日(水) (公財)長野県学校給食会

審査 書類審査 参加 104チーム

第2次審査会 令和7年11月15日(土) 長野県立大学

審査 実技審査(審査員8名) 出場 自由献立部門 6チーム

課題献立部門 3チーム

表彰

〈自由献立部門〉

最優秀賞 長和町立長門小学校

優秀賞 塩尻市辰野町中学校組合立両小野中学校

茅野市立東部中学校

優良賞 安曇野市中部学校給食センター

飯田市立高陵中学校

南箕輪村学校給食センター

〈課題献立部門〉

最優秀賞 須坂市学校給食センター

優良賞 朝日村立朝日小学校

長野市第一学校給食センター

(2) 長野県産物を活用した加工食品の活用促進

栄養教諭・学校栄養職員部会のご協力を得て開発した開発加工食品について引き続き販売をしてまいりました。

(3) 長野県産物を活用した学校給食献立レシピ集の刊行

全44ページ 820部作成

配布 県・市町村教育委員会 公立義務諸学校 共同調理場 他

6 おいしい給食研究会補助事業

平成26年度から、経験豊かな退職栄養教諭・学校栄養職員が指導者となり、学校現場の栄養教諭・学校栄養職員の給食管理と食に関する指導の充実や資質向上を目的として立ち上がった「おいしい給食研究会」に対して、活動補助金を交付するとともに、今年度は県内2か所で開催された講義「地場産物のチカラ」並びに調理講習(デモンストレーション)「地場産物を活用した和食料理の基本」の特別講座に本会役職員が参加するなど積極的な協力を努めました。

7 長野県産物活用促進事業

長野県産を100%使用した冷凍液卵をはじめ、ワカサギ、レンコン、マコモダケ、冷凍ブロッコリー、冷凍ほうれん草など県産の食材の供給に努めるとともに、「豊丘村たけの子プロジェクト」など地域振興事業に対しましても引き続き協力をしました。

また、昨年度に続き、3市町村に対する有機米提供事業を実施いたしました。

8 食育支援事業

学校給食フェア

期日 令和7年1月24日（金）～30日（木）

全国学校給食週間に合わせ県教育委員会で開催した学校給食フェアに対し、後援し食育教材の貸し出し、サンプル品の提供等、協力をしました。

9 令和7年学校給食用パン審査・品質向上研修会

（1）学校給食用パン審査・品質向上研修会

期日 令和7年7月4日（金）

審査委員 （一社）日本パン技術研究所研究調査部 並木利文氏
長野県工業技術総合センター 高橋佑汰氏

採取した数 24委託加工工場

評価 優：21個 良：3個 可：なし 不可：なし

（2）学校給食用パン審査会

期日 令和7年12月5日（金）

審査委員 （一社）日本パン技術研究所研究調査部 並木利文氏
長野県工業技術総合センター 高橋佑汰氏

採取した数 24委託加工工場

評価 優：17個 良：7個 可：なし 不可：なし

10 令和7年の刊行物

（1）－2024年－令和6年度「学校給食会年報」（学校給食に関する刊行物令和7年3月31日発行）

（2）「学校給食会だより」

第194号 （令和7年1月31日発行）

第195号 （令和7年8月31日発行）

（3）「長野県産物を活用した学校給食献立レシピ集」（令和7年3月1日発行）

1 1 その他の事業

基幹システムに使われているサーバー、端末に使用しておりますパソコンの OSWindows10 いずれもサポートが終了するため更新を実施しております。これに合わせ 10 年間使用してまいりました基幹システムの改修、新規機能の追加も実施しております。

III 財務状況

令和 7 年度財務状況について、まず収益を見ると経常収益計は、27 億 1,738 万円で前年度決算額の 103.3%となりました。また経常費用においては、27 億 2,973 万円で前年度決算額の 104.0%となりました。

収益から費用を引いた当期経常増減額は、1,078 万円の減となりました。

玄米価格の大幅な値上がりに伴う本会費用負担が発生し、赤字決算となっております。

IV 今後について

学校給食を取り巻く環境は大きく変化しており、今後の給食会には「安定供給の確保」「地域農業との連携強化」「食育の深化」という三つの柱がこれまで以上に重要となってまいります。物価高騰や国際情勢の不安定化、気候変動により、食材調達にはこれまで以上のリスクが生じております。そのため、効率的で強固な調達体制の構築が求められるとともに、今まで以上に県産食材の活用を拡大し、地域内で安定的に食材を確保できる仕組みづくりが不可欠であります。長野県は農業県であり、学校給食が地域農業にとって安定した販路となることで、生産基盤の維持・強化にも寄与することが期待されます。

また、給食費無償化の議論が進む中で、公会計化の導入が各自治体で進んでおります。こうした制度的な変化に対応するためには、自治体との連携をより一層深め、持続可能な物資供給体制と質の高い食材提供を両立させる仕組みを整えることが重要となってまいります。

給食会は、地域の食の安全と持続性を支える中核的な存在として、これら三つの柱を重視しながら、取り組みを進め、子どもたちに安心で質の高い学校給食を提供するため、その役割を自覚し、役職員一丸となって本会の活動をしていくことが重要と考え、日々努力してまいります。

V 会 議

1 理 事 会

- (1) 第1回理事会 令和7年2月27日(木) 於本会会議室
[議 事]

議案第1号 令和6年度事業報告(案)の承認について
議案第2号 令和6年度収支決算(案)の承認について
議案第3号 役員賠償責任保険契約について
議案第4号 評議員会の開催期日及び付議案件について
その他 任期満了に伴う評議員の選任について

- (2) 第2回理事会 令和7年11月19日(水) 於本会会議室
[議 事]

報告第1号 令和7年度の経営状況及び決算見込みについて
議案第1号 令和8年度事業計画(案)の承認について
議案第2号 令和8年度収支予算(案)の承認について
議案第3号 公益目的事業の種類及び内容について

2 評 議 員 会

- (1) 第1回評議員会

令和7年3月28日(金) 於本会会議室
[議 事]

報告第1号 令和6年度事業報告について
報告第2号 役員賠償責任保険契約について
議案第1号 令和6年度収支決算の承認について
議案第2号 任期満了に伴う評議員の改選について

- (2) 第2回評議員会

令和7年11月21日(金) 於本会会議室
[議 事]

報告第1号 令和7年度の経営状況及び決算見込みについて
報告第2号 令和8年度事業計画について
報告第3号 令和8年年度収支予算について
報告第4号 公益目的事業の種類及び内容について

3 監事による監査会

令和7年2月20日(木) 於本会会議室

4 学校給食用小麦粉製品・米飯加工賃協議会(令和7年4月以降分)

(1) 加工賃協議会事前懇談会

- ・ パン、米飯 令和7年11月14日(金) 於本会研修室
- ・ めん 令和7年11月14日(金) 於本会研修室

(2) 学校給食用小麦粉製品・米飯加工賃協議会

令和7年11月28日(金) 於本会会議室

- ・ ソフトめん加工賃 基準めん80g 一食当たり2,000円アップの44,53円
- ・ パン加工賃 基準パン70g 1個当たり3,500円アップの46,94円
- ・ 炊飯加工賃 食缶方式精米100g 一食当たり3,500円アップの41,99円
一食方式は一食当たり3,500円アップの51,71円
- ・ 特別輸送費

ソフトスパゲッティ式めんは、運搬車1台につき1km増すごとに202円を加算する。但し、当日食缶を回収する場合は、米飯の特別輸送費と同額の294円とする。

パンは、運搬車1台につき1km増すごとに202円を加算する。但し、当日食缶を回収する場合は、米飯の特別輸送費と同額の294円とする。

米飯は、運搬車1台につき1km増すごとに294円を加算する。但し、当日食缶を回収しない場合は、パンの特別輸送費と同額の202円とする。

VI その他

各種大会・会議への参加

(1) 第2回全国学校給食・栄養教諭等研究協議大会

期日 令和7年8月5日(火)～6日(水)

開催地 茨城県

主題 より一層の学校給食の充実と栄養教諭を中核とした学校における食育の推進

～食の王国いばらきから広げる食育の環 ねばーり強くすすめよう！～

(2) 県栄養教諭・学校栄養職員部会関係

- ・ 定期総会 令和7年6月6日(金) オンライン開催
- ・ 県栄養教諭・学校栄養職員部会夏期研修会 令和7年8月1日(金)

(3) 県麺業協同組合関係

- ・ 総会 令和7年5月16日(金) 於長野市
- ・ 衛生管理研修会 令和7年7月29日(火) 於長野市

(4) 長野県学校給食パン・米飯製造事業者協議会関係

- ・ 総会 令和7年6月6日(金)

(5) 県PTA連合会関係

- ・ 定期総会 令和7年5月30日(金) 於長野市

- ・ 関ブロ研究大会 令和7年10月19日（日） 於長野市
- （6）（一社）全国学校給食推進連合会関係
 - ・ 令和6年度臨時社員総会 令和7年3月7日（金） 於東京都
 - ・ 令和7年度第1回定時社員総会 令和7年6月26日（木） 於東京都
 - ・ 初任者研修会 令和7年7月24日（木）～25日（金） 於東京都
 - ・ 実務担当者研修（オンライン） 令和7年11月
- （7）関東甲信静ブロック学校給食会関係
 - ・ 研究協議会 令和7年5月16日（金） 於静岡県
 - ・ 事務担当者会 令和7年10月16日（木）～17日（金） 於東京都
 - ・ 連絡協議会 令和7年11月13日（木）～14日（金） 於栃木県
- （8）長野県教育委員会との共催又は協力事業
 - ・ 長野県学校保健・安全・給食大会令和7年9月9日（月） オンライン開催

VII 附属明細書

定款第8条に定める事業報告書の附属明細書は特記事項がないため記載なし。